

～下田のデキゴト～



7/19 下田中学校新体育館完成

市内の4中学校を統合し、令和4年4月に開校する新「下田中学校」の新体育館が完成しました。1階はバスケットボールコート2面、2階にはコの字型の観覧席を有した体育館となっています。



7/22 夏期海岸パトロール

白浜大浜海水浴場にて、安全な管理運営のためパトロールを行いました。市の海水浴場に関する条例に基づいて、注意・声掛けを行ったほか、新型コロナウイルス対策として、移動時のマスク着用、飲酒の禁止を呼びかけました。



8/2 熱海市への災害派遣

熱海市の土石流による被災地支援として、8月3日から10日までの8日間、市職員2名を派遣しました（写真は壮行会の様子）。現地では、住家被害認定調査に当たり、被災者の心に寄り添う支援を行いました。



7/21 翔華組様より寄附

よさこいチームの翔華組様からご寄附をいただきました。14年間に渡り数々のイベントで活躍されてきましたが、解散することとなりました。でも、「私も元気！皆さまも元気！街も元気！」の合言葉は永遠です。



7/22 毎日の健康管理と行動確認を！

7月22日から8月22日まで下田駅に降車した方々に検温チェックと併せて下田モデルカードを配布し、新・下田モデルによるコロナ対策を呼びかけました。



8/16 あなたは、きっと、誰かの光だ。

東京2020パラリンピックの聖火に供する火の事前採火式がペリー上陸記念公園で行われ、伊豆の国特別支援学校伊豆下田分校の児童・生徒によって「日米友好の灯」から採火されました。

8月の できごと

4・6日	抗原定性検査（ドライブスルー方式）	24・26日	市内小中学校始業式
11日	青色防犯パトロール実施者研修会	25日	日米サーフィン代表Tシャツ贈呈式
17日	パラリンピック静岡県聖火リレー集火式	27日	都市計画公聴会

地域子育て支援センター通信

問合せ先 地域子育て支援センター ☎072200



10月の予定

- 4日(月) 体操教室 10時～11時
場所:市民スポーツセンター(サンワーク)
- 5日(火) 入園説明会(教育委員会)
- 6日(水) めだかルーム 9時～11時30分
- 8日(金) おでかけ広場 ※午後閉館(清掃・消毒)
- 13日(水) あひるルーム 9時～11時30分
- 15日(金) 誕生会
- 18日(月) 下田幼稚園交流
- 19日(火) 下田認定こども園交流
- 20日(水) うさぎルーム(敷根公園)9時～11時30分
- 22日(金) ふれあい遊び ※午後閉館(清掃・消毒)
- 25日(月) 発育測定・育児相談 9時～11時
保健師・栄養士来所
- 26日(火) ベビーリトミック(岡かよの先生)
- 28日(木)29日(金) ハロウィン製作

※予定は変更になる場合があります。

詳細は子育て支援センターまでお問い合わせください。



七夕のお話



誕生会

日中の暑さは続っていますが、朝夕の風が心地よく感じられるようになってきましたね。涼しくなってくると、夏の疲れがでて、体調を崩しやすくなります。睡眠を十分にとり、バランスのよい食事を摂るように心がけ、大人も子どもも健康管理に気をつけていきたいですね。

支援センターでは、9月から「年齢別ルーム」が始まります。同年齢の子と一緒に遊びながら親子で交流を深めていきましょう。年齢にあった玩具、環境を用意しています。第1・2・3水曜日の午前は、年齢指定の日になります。ぜひ遊びにきてくださいね！



図書館出前講座



体育館で遊ぼう

こんにちは、市長です

～助かる命を一人でも～

今から百年程前の大正12年9月1日、とても大きく大きな地震が発生しました。多くの尊い命が建物の下敷きや火災によって失われました。世にいう関東大震災です。東京の下町で特に被害が大きかったそうです。JR総武線両国駅のすぐ前に大相撲で有名な国技館がありますが、その裏手に「横網町公園」があります。関東大震災は、ちょうどこの公園の整備工事が始まった頃で、多くの市民がそこに避難してきました。ところが、公園のまわりの家々が燃え始めると、公園内の空気が一気に高熱になり、火災旋風と呼ばれる炎の竜巻が起こって、人も牛も巻き上げて、一瞬にして人々を焼き尽くしてしまいました。この公園だけで三万八千人も亡くなったと言われています。この痛ましい災害を教訓にすべく、国は昭和35年に9月1日を「防災の日」と定め、毎年防災訓練をするなど、その備えを強化してきています。



「火災旋風」
作 徳永柳洲
東京都墨堤堂所蔵資料

しかし、その後も大規模な地震が全国各地で発生しています。阪神淡路大震災や東日本大震災など本当に数多くです。地震は大雨や台風等と異なり、予測することが困難です。したがって、被害を少なくするには事前の備えが重要です。南海トラフ大地震が危惧されている私たちは、いつ起こっても逃げられるようにしておきたい。そのためには、何よりも家屋が壊れないようにすることが肝要です。津波が来るぞーつと言われて高台へ避難しようにも、建物が倒壊したり、道路がガレキでふさがったりしたら、逃げることはできません。今、トウカイゼロ(倒壊と東海をかけたゼロ)という名称で、耐震無料診断や耐震改修工事への助成制度を用意しています。助かる命を一人でも多くしたい。もしもの時に備え、今一度地震に向き合ってみてください。